

2008年第21回 APLAC 相互承認評議会出席報告

2008年6月

独立行政法人製品評価技術基盤機構
認定センター (IAJapan)

2008年6月5日(木)～6日(金)にアメリカ合衆国、カリフォルニア州、ロングビーチにおいて、アジア太平洋試験所認定協力機構 (APLAC)の第21回相互承認評議会が開催されました。当認定センター (IAJapan)から3名が参加した他、日本からは、(財)日本適合性認定協会(JAB)及び(株)電磁環境試験所認定センター(VLAC)が参加しました。

主な結果概要は次のとおりです。

結果概要

➤ 相互承認取決への署名認定機関について

PJLA(Perry Johnson Laboratory Accreditation、アメリカ)は、試験分野の認定について相互承認へ加盟することが承認されました。これにより、APLAC 相互承認への加盟は16国・地域27機関となりました。

また、既相互承認署名機関であるIAS(アメリカ)及びPAO(フィリピン)の再評価(4年毎に実施される)の結果が審議され、IASについては相互承認継続が承認されました。また、PAOについては相互承認の一時停止が決議されました。

➤ 相互承認文書化WGについて

相互承認文書検討WGの主査を務めるIAJapanの瀬田認定センター所長から、MRAの評価手続の必要な改正点について説明が行われ、原案どおり承認されました。また、相互承認の一時停止及び取り消しの手続きについての必要性が新たに認識されました。

➤ ISO15189の2007年版への移行について

2009年4月30日までにISO15189の2007年版へ完全に移行することが決議されました。

➤ 評価員研修の実施について

評価員研修を2008年12月3-5日にシンガポールにおいて、また、主任評価員研修を2009年に開催することが決定されました。

➤ 次回会合

次回の会合は、2008年12月11-12日にシンガポールにおいて開催されることとなりました。

以上